

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

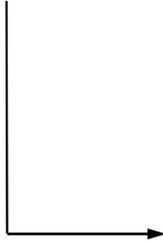
事業名	マルチモーダル交通体系推進調査	担当部局庁	総合政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～	担当課室	参事官(総合交通体系)	参事官 秋村成一郎			
会計区分	一般会計	施策名	40 総合的な国土形成を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	国土形成計画(全国計画)(H20年7月4日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	旅行する個人に着目し、旅行の出発地と目的地、旅行目的とともに、交通機関の乗り継ぎ状況を含めた旅行行動の全体像を捉えた日本で唯一の調査である全国幹線旅客純流動調査を円滑に実施する。平成2年度より5年に1度、調査を実施しており、第5回調査を平成22年度秋に実施した。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本調査は、平成22年度秋に実施した第5回全国幹線旅客純流動調査について、関係部局が行う実態調査と連動して、必要な情報の調査、結果の整理・分析方法の検討を行う。また、調査後に発表する速報値の公表内容や調査結果の分析を行うにあたって検討が必要である時系列を考慮した取り扱い等について検討を行う。これらの本調査の成果は第5回調査の結果として公表される純流動データ等に反映され、国、地方公共団体、民間等のユーザーにより精度の高いデータおよび関連分析を提供することができる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	13	15	14	45	15
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	13	15	14	45	15
	執行額	13	14	14			
執行率(%)	99.7%	95.2%	99.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値
	本施策は、全国幹線旅客純流動調査の円滑な実施とその効果的な活用を図るものであり、成果目標及び成果実績を明示的に示すことは困難な性質のものである。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本施策は、全国幹線旅客純流動調査の円滑な実施とその効果的な活用を図るものであり、活動指標及び活動実績を定めて実施するというものではない。	活動実績 (当初見込み)				( ) ( )	—
単位当たりコスト	1.4百万円/項目	算出根拠 X:実績額(14百万円)、Y:検討項目数(10項目)					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.9百万円	-	平成23年度で実査データの集計作業を終えることによる減額			
	職員旅費	0.1百万円	0.1百万円				
	委員等旅費	0.7百万円	-				
	国土形成計画推進調査費	43百万円	15百万円				
計	45百万円	15百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・検討業務の執行に際しては、企画競争を行い、適切な委託先、内容で業務の委託を実施している。選定過程において、第三者機関である有識者委員会において審議頂いている。また、委託先と適宜業務の進捗・内容について打合せを行い、使途についても適切に把握している。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>・ユーザーの意見を吸い上げ、求める調査項目の追加等、ユーザーの利便性向上に向け改善を図っている。</p> <p>・発注にあたっては、より競争性を高めるため、調達情報について前広に事前公示を行い周知期間を十分に置く、配置予定者の要件など、応募要件の緩和、透明性の確保、競争性の向上に努めている。今後とも発注の競争性向上による効果的な政策効果発現を図っていくこととしている。</p>		
廃止③、⑤	<p>23年度の調査終了後は、5年後の調査まで予算要求は行わずユーザーの意見収集を行うなど利便性向上についての検討を行うこと。また、競争性を高める工夫も含め予算低減策を検討すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>調査環境の変化へ対応しつつ、精度向上への要請へ応える必要があるところ、23年度調査や継続的に実施しているユーザーアンケートの結果を踏まえ、次回調査に向け、処理・分析手法について高い専門的知見を導入しての検討が不可欠である。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

国土交通省  
14百万円

職員旅費  
0百万円

マルチモーダル交通体系推進  
調査



【企画競争】

A. 公益法人  
14百万円

- ・全国幹線旅客純流動調査の整理・分析に関する検討調査
- ・高速ツアーバスの流動および特性把握検討調査

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.財団法人運輸政策研究機構			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
役務費	第5回全国幹線旅客純流動調査の実施に際し、純流動データの作成およびデータの拡大方法・精度向上等に関する検討、純流動データ速報値の公表内容、時系列を考慮した取り扱い、関連分析等に関する検討を行う	9			
役務費	第5回全国幹線旅客純流動調査を実施するにあたり、実態調査に合わせて、高速ツアーバスの流動量調査のための企画立案および実施、次回調査へ向けた課題整理を行う	4			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が支出され  
 ている者について記載す  
 る。費目と使途の双方で  
 実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人運輸政策研究機構	全国幹線旅客純流動調査の整理・分析に関する検討調査 高速ツアーバスの流動および特性把握検討調査	14	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					